

「大島かけはし」は、地域住民の皆様へ大島架橋事業に関する情報をお伝えするものです。

大島架橋事業は、今年度、本土側現道の測量と予備設計を行います。

～第9回「気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」実行委員会 を開催しました～

第9回「気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」実行委員会が下記のとおり開催されました。今回の実行委員会では、「第4回気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の開催結果やこれまでの活動内容について、熱心な意見交換が行なわれました。

記

- 日時 平成22年3月24日（水） 午後1時30分～午後2時30分まで
場所 宮城県気仙沼合同庁舎4階大会議室
内容 1 開会
2 挨拶 実行委員会委員長 菅原 昭彦 氏
3 議事 ○「第4回気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の開催結果について
○懇談会及び実行委員会を振り返って
4 閉会

委員長あいさつ



県気仙沼地方振興事務所長あいさつ



実行委員会委員の意見発表



事務局による説明



【実行委員会結果について】

議事1：「第4回気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の開催結果について

1) 懇談会時に出された、意見については、下記のとおりとなりました。

①「事務局を宮城県から気仙沼市に移行することについて」の意見については、地域振興を検討していく上で、地域に密接した気仙沼市に事務局を設置することとしますが、これまでどおり県と市で協力しながら新組織「(仮称)気仙沼大島振興推進会議」を進行していくこととしました。

このことについては、住民の皆様にご理解をいただくとともに周知を図ってまいります。

②ワークショップや勉強会などを開いて、有識者の意見を取り入れながら、住民主体で課題解決に取り組んでいく必要がある。

③課題を解決していく上で、環境保全にもっと重点をおいて検討して欲しい。

④昔ながらの大島の良さ、日本の良さをどう残していくかも検討して欲しい。

※これら②、③、④の意見については、新組織の中で、検討していくこととなりました。

2) 実行委員より、下記意見が出されました。

○新組織の委員について、有識者の選定には、広く声掛けを行って欲しい。

○住民から、「津波被害が多い中、懇談会の中止を訴える声が上がらなかったのか？」といった意見があった。

→(被災があった委員より) その様な状況の中でも、大島懇談会は、開催する必要がある重要な事項だと言うことを住民の方々に認識して欲しい。

○大島架橋事業は、平成23年度に本当に着手するのか？

→(平成22年度の大規模事業評価結果によるが) 平成23年度は、まず設計等の委託業務から行っていく予定で、これらについても新組織の中で、随時、報告していきたい。

○先日の津波で、大浦地区は冠水した。現道改良についても早期実現が望んでいる。

○大島架橋の目途がいたら、蜂ヶ崎からの対岸側への架橋についても検討して欲しい。

議事2：懇談会及び実行委員会を振り返って

実行委員より出された主な意見は下記のとおりです。

○架橋により自分達の生活が変わっていく事の課題に気づけたことが、大きな収穫となった。

今後は、課題解決に向けて主体的に参加する仲間を増やしていくことが我々の使命だと思う。

○地域振興に関わる、県の担当部所も積極的に参加して欲しい。

○県や市の助成金を有効に利用して、島民みんなで植栽や防犯活動を行っていきたい。

大島架橋についての「お問合せ」は [こちら](#)まで

宮城県気仙沼土木事務所 道路建設班

〒988-0034 宮城県気仙沼市朝日町1番1号

TEL.0226-24-2546(直通) E-mail:ksdbk@pref.miyagi.jp

気仙沼市 建設部 三陸道・大島架橋・唐桑最短道・本吉バイパス整備促進課

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

TEL.0226-22-6600(内線567) E-mail:project@city.kesenuma.lg.jp